

科目名		サブタイトル	担当教員	配置学年	単位数
文学A		文学と政治	玉置 文弥	1年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	文学と政治、悩み、橋川文三、戦争		
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力			
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける			
事前に受講するとよい科目		特になし			
講義の目的	「文学」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。一見、「現実」とはあまり関係のないもののように思われるかもしれませんが。しかし実は「文学」は、例えば人々の精神的な悩みや政治・社会状況などの「現実」を、それぞれの時代に様々な形で表してきました。本講義ではその視点から、おもに近現代日本における文学と政治の関係について考え、理解することを目的とします。				
到達目標	本講義では、文学と政治の関係を深く考えてきた、橋川文三という人物の論考を中心的に扱います。それに触れることで、その内容や構造がどのようなものかを理解し、文学と政治の関係とはどのようなものかについて、自分の意見・感想を持ち、内在的に考えることができるようになることを目標とします。また論考や文学作品を読む経験も味わってもらいたいと考えます。				
講義内容	橋川文三の論考を中心とした読解と、近現代日本の歴史や社会状況の解説を中心として進めます。本講義では、多少難解な文章も取り扱いますが、それによって難しい理論や知識を暗記してもらうのではなく、その時代に自分自身が生きていたらどうだっただろうか、ということを中心に考えるヒントにしてほしいと思います。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	ガイダンス	講義の全体像・ねらい・評価方法の説明と質疑応答		
	第2講	文学と政治の関係？	福田恆存「一匹と九九匹と」の読解・解説		
	第3講	現代と過去の共通性？①	現代と戦前期の社会不安や人々の悩みの考察		
	第4講	近現代日本の歴史	明治から昭和戦前期の歴史の解説		
	第5講	橋川文三とは誰か？	橋川文三に関する基本情報の紹介とその問題意識の検討		
	第6講	超国家主義とは何か？	超国家主義の内容の解説		
	第7講	文学と明治社会①	橋川文三「明治の終焉」の読解・解説		
	第8講	文学と明治社会②	橋川文三「明治のナショナリズムと文学」の読解・解説		
	第9講	文学と明治社会③	橋川文三「青年層の心理的転移」の読解・解説		
	第10講	文学と明治社会④	橋川文三「樗牛と啄木」の読解・解説		
	第11講	文学と明治社会⑤	橋川文三「明治青年の疎外感」の読解・解説		
	第12講	文学と明治社会⑥	これまで読んできた諸論考のまとめ		
	第13講	文学と大正～昭和	明治から大正～昭和への展開における文学の状況の解説		
	第14講	現代と過去の共通性？②	これまでの授業を踏まえ再び現代と過去の共通性を考察		
第15講	まとめ	全回の振り返り			
指導方法	基本的には講義形式で行います。ただし、授業内で自分の考察・感想を書く機会や質問に答える機会があります。				
事前学習	事前に示した文章を必ず読んでください。1時間半程度を目安とします。				
事後学習	講義内容を振り返るために、講義ノートやレジュメ、配布テキストなどを読み直してください。1時間程度を目安とします。				
成績評価方法	本試験（レポート）50%、平常点（授業内課題）50%				
テキスト	ありません。適宜解説する文章やレジュメなどを紙媒体などで配布します。				
参考書籍	授業内で紹介します。				
特記事項	学生の興味・関心や進度に応じて、講義内容が前後したり内容が変更される場合があります。				